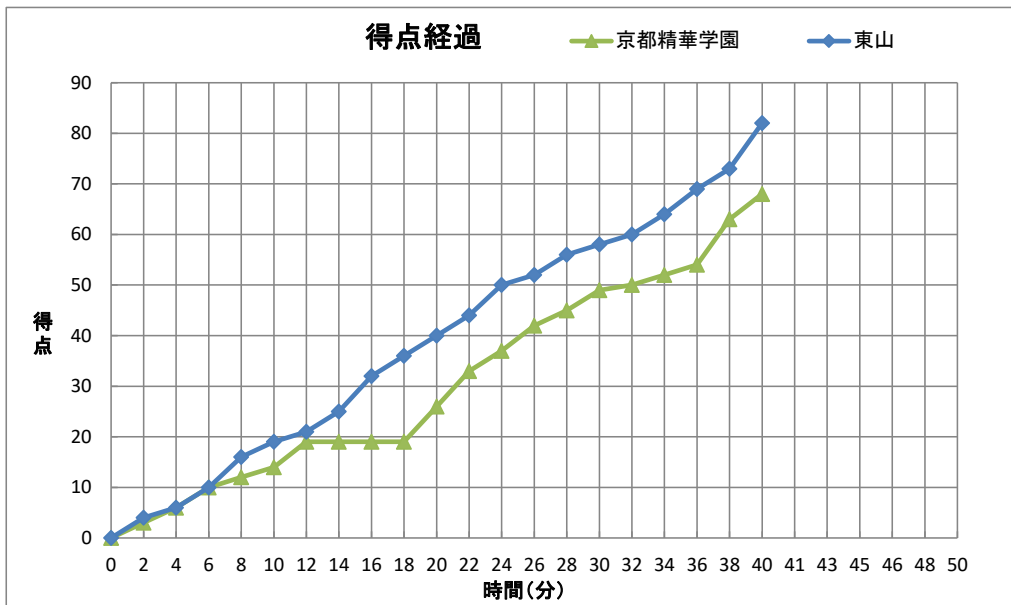




令和4年度  
第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子		2月19日		14:40 開始													
決勝		滋賀ダイハツアリーナ		A													
京都精華学園	68	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>24</td></tr> </table>	14	1st	19	12	2nd	21	23	3rd	18	19	4th	24	82	◎ 東山	
14	1st	19															
12	2nd	21															
23	3rd	18															
19	4th	24															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 1	金井 奏太	5	1	1	0	2	* 4	佐藤 友	44	0	20	4	3				
2	大迫 優成	-	-	-	-	-	* 5	瀬川 琉久	18	0	9	0	1				
3	矢野 陽向	3	1	0	0	0	6	淡路 輪	0	0	0	0	0				
* 6	上野 叶翔	12	0	6	0	1	7	十川 虎之介	6	0	3	0	1				
7	佐藤 優真	-	-	-	-	-	* 8	小泉 広翔	2	0	1	0	3				
13	新開 温矢	7	0	3	1	0	9	竹内 龍ノ介	2	0	1	0	4				
14	西村 晴太	0	0	0	0	1	10	瀧川 隼次	-	-	-	-	-				
* 17	藤内 翔真	10	0	5	0	3	11	伊計 叶貴	0	0	0	0	1				
18	中井 楓弥	-	-	-	-	-	* 12	飯田 流生	3	0	1	1	0				
19	善山 莞太	-	-	-	-	-	13	原 晃生	-	-	-	-	-				
30	中西 飛翔	-	-	-	-	-	14	藤原 洋輝	-	-	-	-	-				
* 32	東郷 然	18	3	3	3	2	* 15	ナトリ オンケン ベナミネ	4	0	2	0	4				
34	前 和成	0	0	0	0	0	16	小野寺 星夢	-	-	-	-	-				
39	内山 煌和	-	-	-	-	-	17	松島 慎弥	-	-	-	-	-				
* 77	ソロモン レイモンド	13	0	4	5	2	18	南川 陸斗	3	1	0	0	1				
コーチ	山崎 翔一朗					0	コーチ	大澤 徹也					0				
Aコーチ	土本 光宏						Aコーチ										
合計		68	5	22	9	11	合計		82	1	37	5	18				
主審:		岩木 太郎															
副審:		伊藤 亮介															
副審:		富島 健司															



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	12:20	15:12	34:03	36:23	38:33	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕  
男子決勝は京都精華学園（京都1位）と東山（京都2位）の対戦となった。

京都精華学園#1#6#17#32#77、東山#4#5#8#12#15のスタートメンバーで試合開始。

第1Q、京都精華学園はマンツーマン、東山はハーフコートゾーンでスタート。京都精華学園は#32、東山は#4#5が得点し両チームとも一歩も譲らない展開で時間が進む。残り2分から東山がマンツーマンで激しくプレッシャーをかけ、相手のターンオーバーを誘い速攻が出始めリードしていく。京都精華学園14-19東山で1Q終了。

第2Q、開始1分、京都精華学園の#13#3の連続得点で同点に追いつく。東山は#4#15がインサイドで得点し再びリードする。残り4分、東山#18の3Pが決まりリードが2桁になったところで京都精華学園がタイムアウト。その後、東山が速攻で得点を重ね、リードをさらに広げる。京都精華学園はゴール下で#77が連続得点するが、京都精華学園26-40東山で2Q終了。

第3Q、東山は#4#5が高い個人技を見せ連続得点、対する京都精華学園は#6の速攻で何とか喰らいつく。残り4分、京都精華学園#32の3Pが決まり点差は10点になるが、東山#4#5が得点し思うように点差は縮まっていけない。その後、京都精華学園は激しいDEFからリズムを掴み京都精華学園49-58東山で3Q終了。

第4Q、東山#15がファウルトラブルで出場できない中で、京都精華学園は#77を中心にインサイドへのアタックで得点を狙う。しかし、東山は#5が高確率でジャンプシュートを決め一進一退の攻防が続く。京都精華学園は残り5分でタイムアウト。その後、東山#4が連続得点で点差を広げる。残り3分京都精華学園が再びタイムアウト。タイムアウト後、京都精華学園はオールコートプレスDEFから逆転を狙うが、東山は全員でボールを繋ぎ得点する。残り1分で京都精華学園が最後のタイムアウト。その後、東山#4がゴール下で連続得点、最終スコア京都精華学園68-82東山で試合終了。京都大会決勝リーグのリベンジを東山が果たした。